

## 自力登校で逞しい七中生に

八代中体連総体も無事終了し、本校の生徒たちも、各会場で大熱戦を繰り広げ、その姿は多くの人に感動を与えました。七中の代表として総体へ参加した生徒たちに、改めて敬意を表したいと思います。

さて、短かった梅雨も明け一気に夏到来となり、厳しい暑さの中にも、生徒たちは元気に登校してきます。小学生も、遠くは十二番町から一年生が七中の前を通過していきます。自分の体と同じくらいの大きさのランドセルに水筒、水泳の道具を抱え、私を見つけると元気な声であいさつを交わしてくれます。たのもしい！



登下校について調べてみると、先進国において、子供だけで自力通学ができる国は、日本を初めわずかな国だけのようです。世界の多くの国では、残念ながら治安が悪く、子供たちだけで登下校させることはあり得ないそうです。子供の誘拐などが多い国では、保護者による学校への送り迎えを、法律で義務化しているそうです。

しかし我が国では、多くの人の見守りや保護者の皆さんの理解により、子供の自力通学が行われ、子供たちの成長を促すことにつながっています。本当にありがたいことです。



本校においても、雨の日も、多くの生徒が雨がっぱを来て、足下がずぶ濡れになりながら、あるいは暑い中ヘルメットの蒸し暑さに耐えながら自力で登校する生徒たちの姿は、大変頼もしく立派です。雨の日も風の日も、自分の力で学校へ通った経験は、生徒の大きな自信となり、卒業後、逞しく高校生活等を送る基礎となることでしょう。

私も、そんな生徒たちを毎朝、一人でも多く校門で迎え入れたいと思います。各ご家庭でのお子さんへの励ましをよろしくお願いいたします。

## 一杯の味噌汁の尊さ

朝からいつもより遅れて登校してきた生徒「いつもより遅かったね。何かあったの？」と理由を聞くと、「うっかり味噌汁をこぼしてしまい、制服を汚してしまいました。」と照れ笑い。



「そりゃ大変だったね。」などと話をしながら、きっと「はよせんと、遅れるよ。」とせかしつつも、「今日も一日元気に過ごしてほしい」という親の思いが、その一杯の味噌汁に込められていることを感じました。



それと同時に、朝から、生徒たちに味噌汁を飲ませて送り出してくださる家庭のありがたさに気づかされました。猛暑の中、学校で一日を元気に過ごすためには、朝ご飯は欠かせません。これは、熱中症対策にも大変重要なことです。

今日も七中生は、ご家庭の愛情に支えられ、元気に過ごすことができます。